

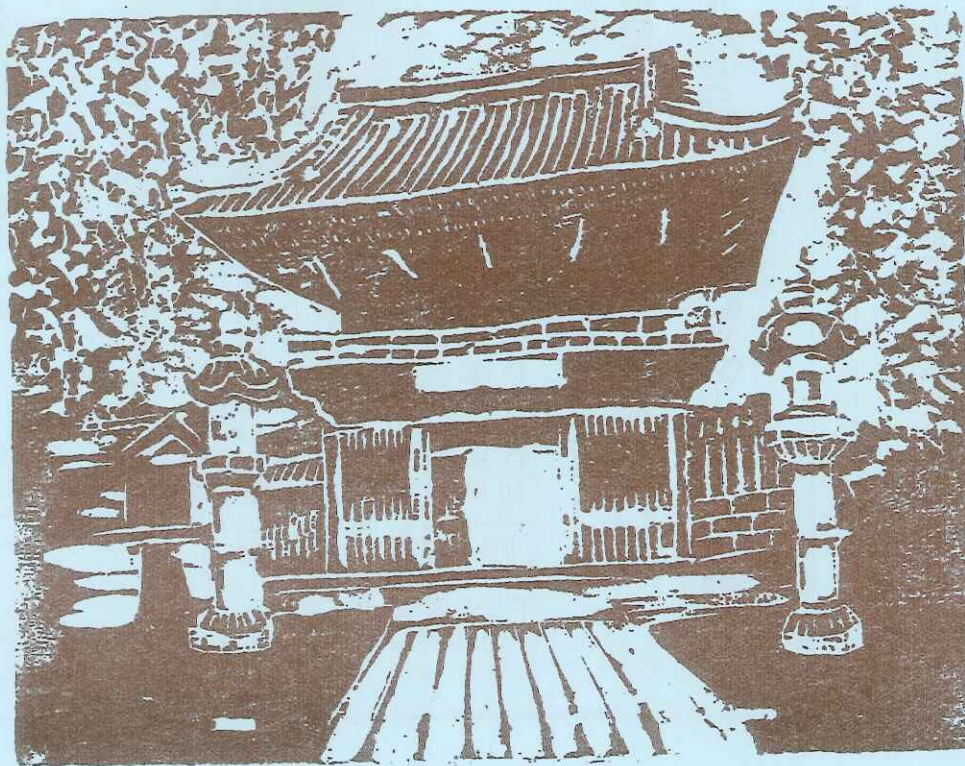
永福の本欄

2016年 3月号

【今月の特集】

すぎなみ再発見！

（向田邦子と久世光彦）



特集コーナー

すぎなみ再発見！

～向田邦子と久世光彦～

『消える人たち 九つの不思議な話』

斉藤洋／作 小峰書店

請求記号：913サ

ISBN:4-338-14403-3



児童文学の作家である著者が遭遇した奇妙な出来事。その中の一つに、杉並のアパートに住んでいた頃の話が出てきます。元々は10代の読者に向けた本ではありますが、淡々と綴られる背筋がひんやりとするその体験談は、実話系怪談の本がお好きな大人の方でも十分に楽しめます。

『絵本作家のアトリエ 1』

福音館書店母の友編集部／著 福音館書店

請求記号：726フ

ISBN:978-4-8340-2722-8



絵本「おおきなかぶ」の絵を担当された佐藤忠良さんは、長年永福町にアトリエを構えていました。この本は、時代を超えて読み継がれている絵本を生んだ画家たちを、創作現場から紹介したシリーズです。この本を読んだ後は、是非絵本も読んでみてください。

『家の匂い町の音 むかし卓袱台があったころ』

久世光彦／著 主婦の友社

請求記号：914.7クセ

ISBN:4-07-231120-0



演出家・久世光彦さんのエッセイ集です。この本では、筆者が幼少の頃より見てきた、在りし日の日本の姿を綴っています。作中には、生家である杉並区阿佐ヶ谷の家のお話もあります。懐かしく、どこか切ない昔の思い出を、ともに感じてみませんか？

『奇跡の団地阿佐ヶ谷住宅』

三浦展／編著 大月敏雄／著 志岐祐一／著

王国社

請求記号：365ミ

ISBN:978-4-86073-045-1



阿佐ヶ谷住宅の魅力とは何なのか。ほかの団地とは違う計画性やデザインはどのようにして生まれたのか。どういう経緯で専門家たちは阿佐ヶ谷住宅を建設したのか、様々な角度から魅力に迫る。

新着図書コーナー

『ニュースの“なぜ？”は世界史に学べ』

日本人が知らない100の疑問

茂木誠／著 SBクリエイティブ

請求記号：319モ

ISBN:978-4-7973-8240-2

世界情勢を理解するには世界史の知識が必要です。本書では世界史の基礎や宗教問題をわかりやすく解説し、世界情勢の見方を教えています。テレビで国際ニュースを見てもいまいちよくわからない…という人にとってつけの一冊です。



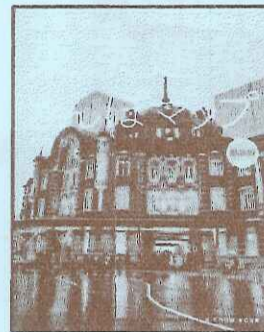
『東京建築さんぽマップ 厳選50ルートから選べる』

松田力／執筆・写真撮影 エクスナレッジ

請求記号：T

ISBN:978-4-7678-2088-0

明治・大正・昭和の時代に設計・建築された建物500件を収録。50のコースが掲載され、それぞれ4キロ・1時間半程で一回りできます。お目当ての建築物から選ぶもよし、歩きたい地域から決めるもよし、気ままに建築さんぽを楽しんでみませんか。



『平成の家族と食』

品田知美／編 野田潤／著 晶文社

請求記号：383.8シ

ISBN:978-4-7949-6822-7

食は生物学的な人間の存在にどうしても欠かせない生活の要です。本書は長期にわたって全国調査された質の高いデータをもとに、「平成の家族と食のリアル」を社会学の研究者たちが一般読者にも読みやすいように解説しています。



『絵本ビブリアLOVE 魅力を語る・表現する』

中川素子／編 朝倉書店

請求記号：019ナ

ISBN:978-4-254-68521-3

絵本は、子供だけでなく大人にも愛される不思議な力があります。この本では、絵本とのさまざまな関わり方で新たな魅力を見つけだす活動をしている人達を紹介されています。どれも興味深く、絵本の楽しみ方が広がります。



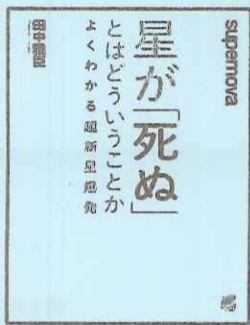
『星が「死ぬ」とはどういうことか よくわかる超新星爆発』

田中雅臣／著 ベレ出版

請求記号：443タ

ISBN:978-4-86064-442-0

「超新星爆発」とは星が寿命を終える時に大爆発を起こすことを言います。具体的にそれがどのようなしくみで起きているのかを、まだ謎につつまれた部分も含めて解説した本です。



『京都の歴史を歩く』

小林文広／著(ほか) 岩波書店

請求記号：A(岩波新書1584)

ISBN:978-4-00-431584-1

国内外から、多くの観光客で賑わう京都。本書では、観光名所の京都ではなく、その土地に生きた人々の暮らしや町並みの様子を、「道」と「場」をめぐる15のコースで紹介しています。ガイドブックにはない京都を見つけることができる一冊です。

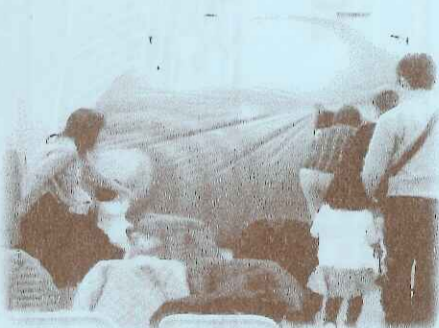


●えいぶんくイベコトレポート

「プラネタリウム in 永福図書館」

1月30日(土) 午前11時、午後2時、午後3時半

エアドーム型プラネタリウムに入って上映当夜の永福町の星を眺めました。解説者の話に耳を傾けながらいくつもの星座を眺め、あっという間の30分でした。上映後はスタッフによるブックトークを行い、星に関する本の貸出を行いました。



「これで安心、遺言と相続」

2月5日(金) 午後2時～4時



弁護士をお迎えし、遺言や相続問題について法律の基礎を学びました。資料をもとに話を聞き、会が終わるまで質問が途切れることはありませんでした。永福図書館が重点的に収集している「身近な法律問題」の講演。今後開催する予定です。



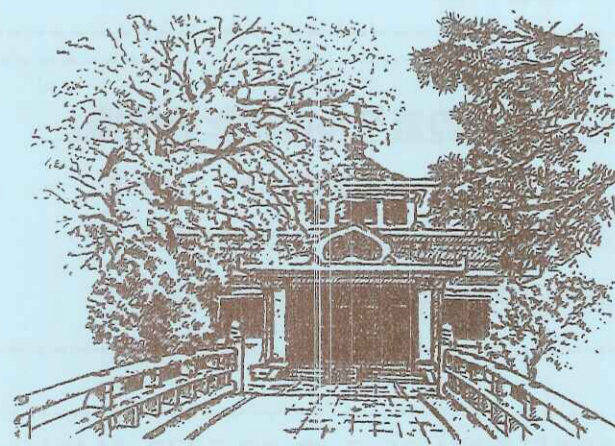
今月のスポット展示

3/4(金)～4/6(水)

「ふりかえり、前をみる」

2011年、3月11日。東日本大震災から、早くも5年の月日が流れました。あの日を境に起きた、人々や企業、社会の変化をたどります。

～ふらり永福～【和田堀廟所】



永福町駅から徒歩20分。大正12年(1923)年の関東大震災で築地本願寺が罹災し、仮本堂として使用されていた建物などを移転して和田堀廟所が設立された。

【イラスト】 M・O (図書館スタッフ)

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

3月の休館日

3日(木)、17日(木)

春を呼ぶ映画会「きっと、うまくいく」(インド映画/170分)

インド屈指のエリート校に入学した親友3人が織り成す感動大作!

【日時】 3月12日(土) 14時～17時(13時30分開場) @地下講座室

【定員】 30名(申込み不要) **対象:** どなたでも

大人のための工作会「羊毛フェルトでマスコットをつくろう」

フェルトをニードルでちくちく刺して、かわいいマスコット作りにチャレンジしてみませんか? 初心者の方におすすめの内容です。当日はネコかクマを作ります。(必要な道具はご用意いたします。)

【日時】 3月19日(土) 10時～12時30分 @地下講座室

【講師】 大高久美子氏 / 千葉啓子氏

【定員】 15名(3月1日から申込み受付開始) **対象:** 高校生以上

こども読書の日記念イベント「のまりんの紙芝居劇場」

みんな大好き!のまりんが今年も永福図書館にやってきます。

大人も子供も一緒に楽しめる、毎年大好評の紙芝居劇場です。

【日時】 4月16日(土) 14時30分～15時30分 @地下講座室

【定員】 60名(申込み不要) **対象:** どなたでも

問合せ: 永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2016年3月号(通巻225号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。